

《余呉湖観光館周辺の桜対策事業》

近年、余呉湖周辺にはお花見や観光客が増えています。

桜対策期間中、ボランティアガイド協会による歴史案内や物販（舟戸、木之本おかん、はとや）、四季折々の余呉湖の風景、野鳥等の写真が展示されます。

また、余呉湖に関する俳句や余呉小中学校の 7.8 年生の俳句も展示されますので、お近くにお越しの際にはお立ち寄りください。

期 間：令和 4 年 4 月 1 日（金）～10 日（日）

場 所：旧はごろも市（余呉湖観光館となり）

※期間中や花見のシーズンには他府県からの来客も増えますので周辺へのお車での通行等にはご注意ください。

余呉地域づくり
だより



発 行
余呉地域づくり
協議会
連 絡 先
TEL 8 6 - 8 1 2 6

～告知放送システムの運用が始まります～

昨今、異常気象などによる自然災害が全国各地で発生しています。私達の地域でも何時起こるかもわかりません。

余呉地域も災害による交通途絶や集落の孤立、また、原子力防災上からも有事の時には多様な情報が求められる地域です。そんな中、以前から活用されていた告知放送の老朽化やデジタル化での更新期をふまえ「地域情報連絡システム」（告知放送システム）が昨年 11 月に整備され、長浜市から（株）ZTV へ民営化されました。使用期間を経て、令和 4 年 4 月から運用が開始されます。



＜生活安全部会＞

～サクラソウが各公共施設の玄関でお出迎えします～

日に日に春の訪れを感じさせる頃となりました。

ガラス温室で育てていた「サクラソウ」がとってもかわいく咲きました。3 月 9 日に認定こども園、余呉小中学校など町内の各公共施設に配布させていただきました。

しばらくすると、秋のイベントで来場者さんが植え付けしたチューリップが花を咲かせます。今からとても楽しみです。

**お花に興味のある方、環境整備に参加していただける方を募っています。
事務局までお声掛けください。**



余呉図書室からのお知らせ

令和4年4月1日から余呉文化ホールの施設管理が長浜市直営となります。
今後、ホール利用の受付のみ余呉図書室の窓口でおこなうこととなります。

また「屋内グラウンド（どまりんこ）」の利用受付は、まちづくりセンターに変更となりますのでご注意ください。

— 带状疱疹について —

はごろも薬局 神田 弘

★带状疱疹は早めに治療が大切

50歳くらいから带状疱疹にかかれる方が増えています。水疱瘡（水ぼうそう）にかかったことがあるとかかる可能性があります。治療が遅れると神経痛などの後遺症が残ることもありますので早めに治療してください。

★免疫力低下で活動を再開

水疱瘡は治った後も体の中の神経節にウイルスが潜んでいます。加齢やストレスなど免疫力が低下してくると再びウイルスが活動をはじめ带状疱疹が起ることがあります。下腹部、顔、頭などにピリピリといった痛みが生じ、やがて発疹が带状に現れ進行するとみずぶくれなどに悪化することがあります。

★早めの治療と免疫を下げない生活

そのままにしたり治療が遅れるとひどい場合顔面神経麻痺や腕が上げにくいなどの運動障害や带状疱疹後の神経痛が残ったりします。带状疱疹が疑われた場合皮膚科などの受診が大切です。

過労やストレスをできるだけ避け、十分な睡眠と適度な運動をし、栄養バランスのとれた食事を摂り、免疫を下げない生活を心がけましょう。

★お薬について

治療には飲み薬や湿布薬などが使用されます。効果が出るまで数日かかります。効果が出ないと思って自己判断で止めたりしないようにしましょう。

また、症状が治まったと思って途中で服用をやめたりすると再発することがありますので指示に従って服用しましょう。

お問い合わせ先 TEL 56-0455

口腔ケアでウイルス感染を予防しましょう

中之郷歯科診療所 歯科医師 林 浩志



皆さんはウイルスの感染予防に口腔ケアが重要なのはご存じでしょうか？

インフルエンザが、口腔ケアの徹底によって防げることが研究によって明らかになっています。新型コロナウイルスに関しても、口腔ケアで予防・重篤化の軽減効果が期待されると報告されています。こんな今だからこそ口腔ケアが必要不可欠です。口の中の細菌は新型コロナウイルスが体内の細胞に付着する手助けをしており、口腔内の細菌は誤嚥などで肺に入って、肺炎の原因菌となります。また、口腔内の細菌バランスを整えることで（特に歯周病菌を減らすことで）免疫力を上げることができます。

コロナの波は今後も続くと思われ、終息の兆しがなかなか見えてきません。ウィズコロナ時代によりよく生き抜くために定期的に歯科検診を受けましょう。

お問い合わせ先 TEL 86-8120